

別紙3 (様式第8号添付用)

提案型協働事業報告書

| | |
|---|---|
| <p>1 該当する町の施策方針</p> | <p>「22のめざすべきまちの姿」 基本目標3 ふれあいのあるまち ・誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち ・地域活動が活発に行われているまち 「61の施策方針」 地域間活動を応援する ・世代間交流・地域間交流を進める ・地域活動の担い手を育成する。</p> |
| <p>2 解決へ向けて取り組む地域課題</p> | <p>町づくり地域づくりにおいて、若者は社会参加・社会貢献への関心や意欲があるが、それに向けた参画や参加が進展していないのが現実である。その要因としては、社会参加への機会が提供されなかったり、参加の手順がわからなかったりと、誰かが、背中を押してくれるのを待っている。よって、若者に参加しやすい体験の機会を提供することにより、郷土意識を高め、社会参加・社会貢献への契機としたい。</p> |
| <p>3 事業の内容等</p> <p>(1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業PRの方法 (5) その他</p> | <p>(1) 豪雪地域における雪下ろし・道路等の除雪・豪雪地域住民との交流・他県のボランティア団体との交流 (2) 長野県飯山市斑尾 (3) 町内事業所及び町内在住の若者・一般町民等、21名(男性11名・女性10名) (4) 行政；町内小・中学校・保育園への広報・前年度「東北震災復興ボランティア」参加者へのダイレクトメールT-box；事業所への案内チラシ配布 (5) 飯山市社会福祉協議会主催による「とうど塾」に参加。参加者は21名であった。参加者の負担軽減を考慮し、当初予定の貸切バスからレンタカー借り上げにより実施。</p> |
| <p>4 事業実施により得られた効果</p> | <p>武豊町とは異なった地域課題に触れることにより、若者の防災に対する意識の高揚と共助の認識が培われた。また、豪雪地の苦境を体感・体験したことを子どもたちや職場や家庭に伝えることができた。 社会参加の契機となり、若者自身が社会参加や社会貢献の必要性を理解した。</p> |
| <p>5 今後の事業ビジョン</p> | <p>若者の興味関心をひく、共通課題や目的を共有できたことにより、社会参加意識の高揚や社会貢献に向け、行動できる若者が醸成できた。その結果、若者間のネットワークの構築を目指し、若者自身が企画・運営する楽しく社会参加ができる事業を今後も継続的に企画していくことが確認でき、引き続き継続的に社会参加と社会貢献をめざす自主事業を展開していく。</p> |
| <p>6 その他</p> | <p>※別添 「募集要項」「参加者アンケート集計結果」及び「活動記録写真」参照</p> |

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。